



完成予想パース

Jaguar Land Rover スロバキア新工場

ヨーロッパ竹中 総括所長

ピーター ウルバレック

Petr Urvalek



立柱式の様子

世界で活躍する
日本の建設企業

スロバキア共和国について

今年、建国二十五周年を迎えるスロバキア共和国は五つの近隣諸国（チェコ・オーストリア・ポーランド・ウクライナ・ハンガリー）と国境を接しており、首都はブラチスラバである。国土面積は四万九、〇三五平方キロメートルで日本の約七分の一の大きさである（九州とほぼ同じ）。人口は約五五〇万人。かつては農業国であったが、現在の主要産業は自動車産業や機械工業へと変化している。国内と隣国への高速道路が拡張していることにより、輸出に適した立地条件として注目されている。また、中東欧では数少ないユーロ導入国（二〇〇九年）であり、安定した経済成長を続けている。

プロジェクト概要

当プロジェクトは、英国の世界的高級車メーカーであるジャガー・ランドローバー社が総額一〇億ポンド（約一、三〇〇億円）を投資し、スロバキア西部のニトラ市に新たな自動車生産工場を建設するものである。約三〇〇万平方メートルの広大な敷地に車体工場棟、ペイント工場棟、組立工場棟、事務所棟などを構え、そのうち当社は車体工場棟（一〇万二、〇〇〇平方メートル）と組立工場棟（一四万九、〇〇〇平方メートル）・事務所棟



鳥瞰

（二万四、〇〇〇平方メートル）を手掛けている。二〇一八年後半の操業開始後は年間一五万台の生産を予定し、同社のヨーロッパ市場への販売拡大を図る上で重要な拠点となる。

ヨーロッパの大手建設企業との熾烈な競争の

なか、当社がこれまで中東欧で手掛けてきた「KIA スロバキア自動車組立工場」「現代自動車チェコ工場」など自動車生産工場の建設実績や技術提案が認められ、当社初となる欧州系自動車メーカーからの新工場の受命にいたった。およそ二、八〇〇名の雇用を見込む当プロジェクトの起工式（二〇一六年九月十三日）には、スロバキアのロベルト・フィツォ首相が出席し、地元マスコミにもトップニュースで報じられた。

またジャガー・ランドローバー社のラルフ・スベッツCEOは「スロバキア新工場が当社グローバル事業の新たな一歩として、世界規模での生産能力強化に大きく貢献することを切望する」と、当プロジェクトに対する並々ならぬ期待を示した。

プロジェクト現状

二〇一六年九月に着工した当プロジェクトのヨーロッパ竹中スタッフは五カ国（スロバキア、チェコ、英国、タイ、日本）から参加し、総勢八〇名を超えるグローバル組織である。工事は既に躯体・屋根・外装工事を完了し、二〇一八年二月の建屋完成を目指し現在、内部仕上・設備工事等を行っている。当社はプロジェクトのメインコントラクターとして当社施工範囲外の他企業との調整も行い、プロジェクト全体が成功するよう努力を続けている。

ヨーロッパ竹中は現地法人設立から四十年を超え、現地スタッフを主体としたプロジェクトを運営している。当プロジェクトにおいても自動車関連工場の経験豊富なチェコやスロバキアのスタッフを中心に、建築主の期待と信頼、ならびにスロバキア社会の発展に貢献すべく、新工場の建設に所員一同一丸となって取り組んでいきたい。